萌え萌えお兄さん

源雪風

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

萌え萌えお兄さん

【コード】

N3534K

【作者名】

源雪風

【あらすじ】

古本屋で出会った勇気あるお兄さんの話。
実話です。

漫画研究部を早く切り上げて、ペニシリンのロマンスという曲を探しに、某古本屋に行った。

CDコーナーで、ペニシリンのCDを見つけた。

だが、CDはフィルムに包まれていて、中身を確認できない。

これでは、ロマンスが収録されているか分らないか。(汗)
近くに店員さんがいたので、

「中身を確認したいので、開けていいですか。」

と、私は問うた。

店員さんは

「少々お待ちください。」

と言って、レジに向かおうとした。

そこに、背の高い黒髪のお兄さん(推定20歳)が、現れた。

そして、CDを店員さんから奪い、フィルムをびりびりと破いて、私に渡した。

CDの内容を確認すると、ロマンスが収録されていた。

お礼を言おうとしたときには、兄さんは、無言で去って行っていた。
現代にも、武士みたいな男子がいるのだなぁと感動した。

とあるヘーゲル学者は、本屋の本がフィルムに包まれていても、破いて中身を見るといっ。

あのお兄さんは、その学者を知っているだろうか。

それとも格好をつけたかっただけなのか。

謎だ。

もし店員さんが、お兄さんに文句を言ったら、お兄さんはどう反論したのだろう。

反論する自信があるから、破いたのだろう。

今、その時のCDを聞きながら、この文章を書いている。
未練がましく、お兄さんが破いたフィルムはまだとつてある。
指紋を調べれば、お兄さんに再会できるかもしれない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3534k/>

萌え萌えお兄さん

2010年10月20日20時00分発行